

鈴木秀子博士

# ～ 逝く者と送る者との愛の絆 ～

“死” について考える

2011年11月13日 (日)

1:30 pm (Door opens 1:15 pm)

Spalding Hall Auditorium #155

University of Hawai'i at Manoa

Ticket: \$20



死への恐怖、人間にとってこれほど重い不安はありません。人生の終わりと全くの無、後へ残る者たちへの絶ちきり難い心残り・等々。同じように、死にゆく人を送る側にも、納得できず諦めきれない悲嘆が残ります。しかし死は、人間にとって荘厳で確かなものであり、誰も避けることが出来ず、人生の意味の全ては、そこに込められていると言ってよい問題です。

鈴木秀子『幸福な死に方』より

多くの方たちの死の瞬間を見つめてこられてきた、シスター・鈴木秀子博士。誰もが必ず迎える死をどう考えたらよいか、死に臨む人々をどう支えていくのか、逝く人と送る人の絆を深めるための

「仲良し時間」など、今回は、長年の経験から培われたその英知を語って頂きます。死を考えることはどう生きるかを考えることにつながります。人間として避けて通ることの出来ないこの課題を、ご一緒に考えてみませんか？申し訳ございませんが、お子様はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

## 鈴木秀子博士 プロフィール

東京大学人文科学研究科博士課程修了。文学博士。フランス、イタリアに留学。スタンフォード大学で教鞭をとり、聖心女子大学教授（日本近代文学）を経て、国際コミュニケーション学会名誉会長。聖心女子大学キリスト教文化研究所研究員・聖心会会員。修道院で8年間沈黙の修行を体験。日本にはじめてエニアグラムを紹介。全国および海外からの招聘、要望に応じて、「人生の意味」を聴衆とともに考える講演会、ワークショップで、さまざまな指導に当たっている。『死にゆく者からの言葉』（文藝春秋）はNHKテレビ他で取り上げられ話題を呼ぶ。著書に、『生者と死者の仲良し時間』（文藝春秋）『愛と癒しのコミュニケーション』（文春新書）、『心の対話者』（文春新書）、『幸せになるキーワード』（致知出版社）、『あなたの心が光でいっぱいになる本』（青春出版社）、『いのちの絆・大震災を生きる』（静山社）など多数。

協賛



Center for Interpretation and Translation  
(University of Hawai'i at Manoa)  
Japanese Women's Society Foundation

Spalding Hallは2540 Maile Way, Honolulu, HI  
University Ave を北に上がり、Maile Way  
を右に曲がって3番目の角、右側です。

  
**Honolulu Foundation**  
P.O.Box 283330, Honolulu, HI 96828  
Tel: 808-457-1740  
Email: info@honolulufoundation.org  
Web site: www.honolulufoundation.org